



ロータス東海の ちいらしっこ通信



2022年5月号

【頭の体操!今月のなぞなぞ】①トイから出てきた人が突然倒れて死んでしまいました。この人の職業は何? ②毎年4月に新しくなる遊び道具って何? ③タクシーを手を挙げて止めずに足で止める人ってだれ? ④これを使うと誰でも3歳老けてしまうそうです。それって何? ⑤横綱になるとタバコを吸う人が増えるのはなぜでしょう?

今月のちいらしっこ通信 【脱ぎ捨てろのせ...】

とある大金持ちに「明日、法事を」と頼まれた一休さん、急な話にもかかわらず快く引き受けました。しかし、一休さんは薄汚れたボロをまとって大金持ちの家に向かいます。

ところが大金持ちは「見苦しい者は追い出せ!」と、使用人たちに、叩き出させてしまいました。翌日、一休さんは衣を調べ、美しい金欄の袈裟を着けて向かいます。歓迎されますが、なぜか家にながります。困惑する大金持ちに昨日訪れた物乞いが自分自身であつた事を言い、「あなたが待っていたのは私ではなく衣なのだから」とそこで袈裟も衣も脱ぎ捨てて帰りました。

これは一読すると、見た目でも人を判断する大金持ちをこらしめた話のように思えます。しかし一休さんに焦点を当てると、もつと深い所が見えてきます。それは「たよらないころ」のはたらきです。

一休さんは、ボロを着込むのも金欄を着けるのも自由自在。そしてボロを着ればボロの、金欄を着れば金欄の立ち

振る舞い、しかも簡単に脱ぎ捨てて、そこに留まらない。はたして自分の身に置き換えてみたらどうでしょうか。ボロを着て人目につくのは恥ずかしいと思いますし、立派な良いものを手放すのは惜しいと思うでしょう。何がこの違いを生むのか。それが自分本位の心、自分の利益や価値観に「たよってきた、ころ」なのです。

それは自ら「枠」を作り出して自分自身を制限しているようなもの。その「枠」に収まるものしか受け入れられない。だから自分本位でいると常に自分と他とを分別せずにはいられませんか。損得・美醜・好悪・貴賤...その選択に価値があると信じて振り回されているのです。その自分本位を捨て、自も他も無い安心の姿を一休さんは袈裟を脱ぎ捨て示されたのです。

(福田宗信 通源寺住職 花園十月号より)



人と地球と車にやさしい思いやり(SDGs) SDGsで全世界が取り組む問題になった

「貧しい人たちはかわいそうだから助けよう」と考えることは悪いことではありませんが、SDGsは「豊かな先進国が貧しい途上国を助ける」という単純なものではありません。

実は、2015年にできたSDGsの前に、8つの目標からなるMDGs(ミレニアム開発目標)がありました。

MDGs(ミレニアム開発目標)とは、2000年9月に採択された「国連ミレニアム宣言」を基にまとめられた国際社会共通の目標です。極度の貧困と飢餓の撲滅など、2015年までに達成すべき8つの目標を掲げました。

極度の貧困に陥っている人の数が十九億人(1990年)から八億三六〇〇万人(2015年)へと半数以下に減少するなど、一定の成果を上げましたが、すべての目標は達成できなかったため、残された課

題はSDGsに引き継がれています。

SDGsとMDGsの大きな違いは、世界規模の課題が増えてきたことを受けて、SDGsが先進国も含めた全世界で取り組むべき目標として設定されたことです。つまり、すべての国や人が問題・課題を解決しなければならぬ当事者になったのです。



MDGsとは?

ロータスクラブはCO2削減に取り組んでいます



ちかちゃんの

世界の有名レース

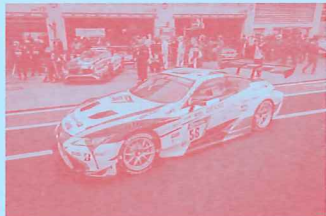
ニルブルクリンク24時間レース
ドイツ西部の山奥、ニルブルクリンクで1970年以来毎年開催される、ADAC主催の耐久レースです。24時間でどれだけ長い距離を走れるかを競います。

毎年5月から6月の初夏に開催されています。元々はローカルイベントでしたが、第1回のレースが開催されると人気が集まり、今ではヨーロッパ中に中継されるビッグイベントになりました。

特徴として、参加するチームがワークスやプライベーターなどさまざまという事が挙げられます。

使用されるニルブルクリンクは、建設当時の土木技術水準では地形に合わせて造らざるを得ず、人海戦術でできたコースは、170以上のコーナーをはじめ、高低差300mと起伏が激しく、路面もうねりを伴い、峠を走る一般道と形容されます。

このような過酷な道が20.8kmも続く、世界唯一のコースだからこそ、車両開発の聖地と呼ばれ、自動車メーカーがクルマを鍛えるために集まり続けているのです。



まりちゃんの

大人の趣味時間

一時期「山ガール」という言葉が流行りました。ハイキングに登山、トレッキング：どれも似た言葉ですが、実はそれぞれ違いがあります。ハイキングとは、比較的短時間で気軽にできる山歩き。自然の中を歩いて景色などを楽しむことを目的としたアクティビティで、必ずしも山頂を目指さないことも多いです。一方、登山は山頂まで到達することを目的としています。低い山でも、山頂を目指す場合は「登山」と言えますが、ゆるやかな山に登ることもあれば、険しい山、危険な山に登ることもあります。トレッキングはハイキングと同様に、山頂に到達する・しないは自由ですが、ハイキングより長時間歩くことが多く、泊まりがけで険しい山道を歩くこともあります。

一番初心者向きなのがハイキング。危険な道は避けて、自然を楽しみながらのんびりとした休日を過ごしたい人におすすめのアクティビティです。一般的に2〜3時間で楽しむことが多く、体力に自信がない人や山歩きに慣れていない人でもチャレンジしやすいのが魅力です。美しい自然は見ているだけで良い気分転換になりますし、優しく頬をなでる風の気持ちよさ、清流の音のこちよさなど、五感で感じる癒しも、自然を楽しむこと自体を目的としたハイキングならではの魅力といえます。自然の中で食べると、いつものおにぎりやサンドイッチも、特別美味しく感じられるのが不思議です。週末に気軽に楽しんでみませんか。



かとちゃんの

鎌倉時代の生活文化

食事と調味料
現在の料理は、いろいろな調味料を使い、自分好みの味付けをして食べることが出来ます。鎌倉時代の料理は、基本的に味付けはありませんでした。塩漬けにした干物や梅干しなど、塩味の料理はありましたが、その他は調味料を付けておかずを食べていたといわれています。この時代、味噌はとても貴重品でした。中国から来た僧が「すり鉢」を伝えたことから、粒味噌をすり鉢で潰したあとに、「お湯を注ぐと溶ける」ことが分かり、武士達はこの頃から味噌汁を味わい始めます。

梅干しをご飯に乗せて食べるという概念も、武士達が始めたことでした。お肉を食べ、玄米に梅干し、そして味噌汁まで付くと、現在で考えてもとてもバランスの良い食事になったのです。この時代、もうひとつ代表的な調味料があります。「醬」(ひしお)と言う、塩と「麴」(こうじ)を発酵させた調味料で、味は塩や醤油、酢を混ぜ合わせたようなイメージです。おかずは、この醬に付けて食べるのが定番の味付けでしたが、この醬自体を舐めておかず代わりにしていました。



We are Professional. ロータスクラブ加盟店

(株) 東海自動車

〒036-8061 青森県弘前市神田1-5-4

TEL: 0172-33-7700

FAX: 0172-32-7171

発行人: 福士 幹規

日曜・祝日も元気に営業中です!!

「め〜コーヒーまだ飲みにきてね〜人はえぐ来いへ〜」

特典いっぱい「友の会」会員募集中です。

マイカーリースも好評受付中!!

営業時間 8:30~17:30

定休日:第1・3・5の日曜日はお休み